

令和5年8月7日（月）東広島市立高美が丘中学校

【夢あふれる学校図書館見学会の様子】



【参加者アンケートより】

- ・ 読書推進に向けて、環境づくり、教科指導の両面から図書館を活用されていて素晴らしいと思いました。環境面では、司書の先生のアイデアが素晴らしく、生徒の興味・関心、学習状況をふまえ、創意工夫されていました。こうした取組ができるほど校内での連携が取れていることも、学校全体の取組の成果だと思いました。学習指導においても、GTや担当教員との連携のもと、図書館がしっかり活用され、生徒の学びが深まっているのを感じました。
- ・ まずは、図書館に入る前から、生徒と先生が作られた作品の数々に驚きました。どの展示物も工夫が凝らしてあって、生徒だけでなく外部から来た人も、「図書館を覗いてみたいなあ。」という気持ちになります！また、館内の図書も分かりやすく小道具等を利用して配架しており、生徒の読書意欲を上げようとしている工夫がよく分かりました。「雑誌サポーター」、「おみくじ」、「読書ラリー」等、ぜひまねしたいです。
- ・ 生徒を本の世界に「誘う」工夫の数々
モニターでの情報提供、リーディングトラッカー、返却の際のちょっとしたアイデア、学習センターとしての役割（パスファインダー等の調べ学習のノウハウ、プリントの準備...レターボックスにある！！）、授業への司書の入り込み、手に取りやすい蔵書量（館内の図書の数が多くないのが逆に手に取りやすい量に見える）、授業で活用→資料の展示とつながっている

- ・ 高美が丘中学校の学校図書館運営の柱がしっかりしているのに驚いた。
読書センター：生徒の目線で作られている。本を選ぶ楽しさが伝わってくる。展示の工夫に、とても時間をかけていると思う。
学習センター：授業に活用できる提案が学校司書から積極的になされている。生徒にとっては初めての古典なので、分かりやすいように展示をして苦手意識をもたせない。
情報センター：教職員のニーズへの対応が想像以上（国語以外にも英語等も）。
生徒の居場所づくり：ブックカフェがあるなど、子供たちの居場所を作るのはとても良い。

- ・ 「読書くじ」や「四字熟語くじ」など図書館に来たいと思える工夫があった。いろいろな教科の授業のきっかけ作りがあり、授業も楽しめる工夫ができていた。生徒の学力をつけるためにも参考になった。

- ・ ブックカフェの活用が素晴らしくて、本校でもできないかと思っています。学校司書として、いろんなコーナーづくりをしてきましたが、もっと生徒たちが喜んでくれるものを考えてやっていけたらと思いました。学校司書から提案するだけでは難しいことが山積しているが、できるところから始めたいと思いました。

- ・ 生徒が学校図書館に来たくなるしかけがたくさんあって、とても面白いなと思いました。また、調べ学習のためのしおりやパスファインダーなど、授業で図書を活用してもらうための工夫がとても参考になりました。

- ・ 本校は、学校図書館リニューアル事業を受け、只今リニューアルの最中です。書架の配置を変え、レイアウトを決定しつつあります。生徒が利用したくなるような配架が参考になりました。また、「ブックカフェ」は、本校の教員からも要望がありましたので、実現させたいです。バーコードを貼り、貸出ができるようにするまで、まだ時間はかかりますが、同時に生徒を楽しませるようなしかけを考えたいと思いました。高美が丘中学校のような、学校名を冠した神社のコーナーはぜひ設け、おみくじには本の紹介も入れて、心のサプリ的な本を特設したいです。ただ、司書教諭が配置されない規模なので、今後どのように維持し、運営していくかも課題です。

今日は本当に幸せな時間でした。今の自分のような思いを生徒にもさせてやれたらと思います。ありがとうございます。

- ・ 雑誌サポーター制度のように、子供たちが読みたいと思っているものを置いたり、ブックカフェのように、本を読む、借りるだけでなく、気軽に子供たちが足を運ぶことができるような工夫をしたりしてきたいなと思います。おみくじやPOP、本の特集など、子供たちが本に触れるきっかけ作りや、本に興味をもつような工夫をしていきたいと思います。環境整備等の面で大変参考になりました。

